

お客様各位

2018年2月吉日

紫外線強度計 UV-2500ⅡおよびUV-2500ⅢのNIST トレーサブル体系の変更について

拝啓

貴社、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、紫外線強度計UV-2500ⅡおよびUV-2500ⅢのNIST トレーサブル品につきまして、トレーサビリティ体系の変更を行いますので下記通りご報告申し上げます。
ご査収の程、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

1. 変更対象

紫外線強度計UV-2500ⅡおよびUV-2500Ⅲ (NIST トレーサブル品)

2. 変更理由

弊社第一標準器の校正依頼先である Spectronics 社にて校正プロセスの変更によるトレーサビリティ体系および校正点の変更となる旨の連絡を受け、弊社の校正プロセスの見直しおよび老朽化していた校正機器の更新を行いました。

3. 変更点

- ①校正委託先変更にともなうトレーサビリティ体系図の変更
この度の変更により従来の校正方法と測定値に水準差がございますが、
トレーサブル先は従来通りNISTであり変更はございません。
- ②第一標準器および校正光源の更新
- ③UV-2500Ⅲの校正点の変更 (最大強度 $28,000 \mu\text{W}/\text{cm}^2 \Rightarrow 15,000 \mu\text{W}/\text{cm}^2$)
- ④校正書類の記載内容の変更

添付される校正書類 (校正証明書、試験成績書、トレーサビリティ体系図) の具体的な変更箇所は別紙の通りです。

4. 初回校正時の対応について

2018年3月から2019年3月までに校正依頼を頂いた強度計につきましては、校正書類と合わせて変更前の校正方法で実施した受入値の報告書を添付いたします。

5. 変更時期

2018年3月1日以降の校正実施品

以上

(別紙1) UV-2500 II の変更内容について

成績書サンプルデータ

発行番号: 05502

校正証明書

米国国家基準 (NIST) とのトレーサブルな校正機器を使用し、当社の作業指定に従って、校正されていることを証明いたします。

校正機器

第1標準器

機器名称	紫外線強度計
機器型式	XR-1000
製造者	Specronics Corp.
製造番号	2036206
校正日	2017/03/27

第2標準器

機器名称	紫外線強度計
機器型式	UV-2500 II
製造者	マークテック株式会社
製造番号	66083
校正日	2017/08/28
有効期限	2018/02/28

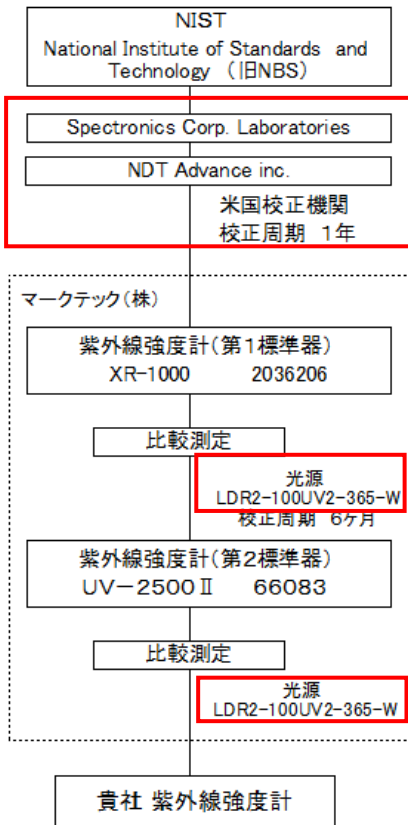
マークテック株式会社

成田工場 品質保証室

住所: 千葉県成田市吉岡 681-4

TEL: 0476-49-3166 FAX: 0476-49-3181

トレーサビリティ体系図



試験成績書

試験器

品名	紫外線強度計
型式	UV-2500 II
製造番号	AAAAA
製造者	マークテック株式会社

試験方法

UV-LED光源を用い、各点における紫外線強度を第2標準器と比較測定する。

判定基準

各点の紫外線強度の値が±2.5%以内であること。

試験結果

(紫外線強度 単位 μW/cm²)

レンジ	標準器指示値	試験器指示値
2500	0	0
	1000	1250
	2000	2500
10000	0	0
	5000	5000
	8000	10000

試験温度: 20°C

試験湿度: 20%

校正日 2017/12/22

上記の通り、要求事項に合格していることを証明致します。



マークテック株式会社

品質保証室

018-0498-00

変更箇所	変更内容	変更前	変更後
校正証明書	第1標準器の情報	DSE-100XL	XR-1000
	第1標準器の校正日	校正有効期限を記載	校正日を記載
	第2標準の校正日	記載無し	校正日を追記
体系図	体系図全体を修正	—	NDT Advance inc を追加
	光源の変更	D-10B	LDR2-100UV2-365-W
試験成績書	試験方法の表現を修正	光源に D-10B を使用	光源に UV-LED を用い

(別紙2) UV-2500Ⅲの変更内容について (校正証明書)



発行番号 1635
総数2頁の1頁

校正証明書

依頼者 成績書サンプルデータ
品名 紫外線強度計
型式 UV-2500Ⅲ
製造番号 本体 AAAAA
受光部 AAAAA
管理番号 -

上記の製品は、NIST(National Institute of Standards and Technology)のトレーサブルな校正装置を使用し、当社の作業標準に従って校正されていることを証明いたします。なお、測定結果は次頁のとおりです。

校正日 2017年12月22日



品名	型式	製造番号	標準器校正日	校正有効期限
第一標準器 0-15000 μW/cm ²	本体 XR-1000 受光部 XDS-1000	2036206 2036207	2017/03/27	校正周期1年
第二標準器	UV-2500Ⅲ・A 本体 06 受光部 06	2018/03/27	2018/08/28	
光源 UV照射器	LDR2-100UV2-365W	34255A001	-	-

審査番号: Q18-0431-02

品名	型式	製造番号	標準器校正日	校正有効期限
第一標準器 0-15000 μW/cm ²	本体 XR-1000 受光部 XDS-1000	2036206 2036207	2017/03/27	校正周期1年
第二標準器	UV-2500Ⅲ・A 本体 06 受光部 06	2018/03/27	2018/08/28	
光源 UV照射器	LDR2-100UV2-365W	34255A001	-	-

変更箇所	変更内容	変更前	変更後
校正証明書 (使用機器)	第1標準器の情報	DSE-100XL	XR-1000
	第1標準器の校正日	校正有効期限を記載	校正日を追加 有効期限を校正周期として記載
	第2標準の校正日	記載無し	校正日を追記
	光源の変更	UV-400	LDR2-100UV2-365-W

(別紙3) UV-2500Ⅲの変更内容について (測定結果報告書、トレーサビリティ体系図)



発行番号 1635
秘密2頁の2頁

紫外線強度計 UV-2500Ⅲ トレーサビリティ体系図

測定結果報告書

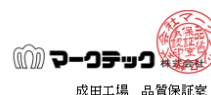
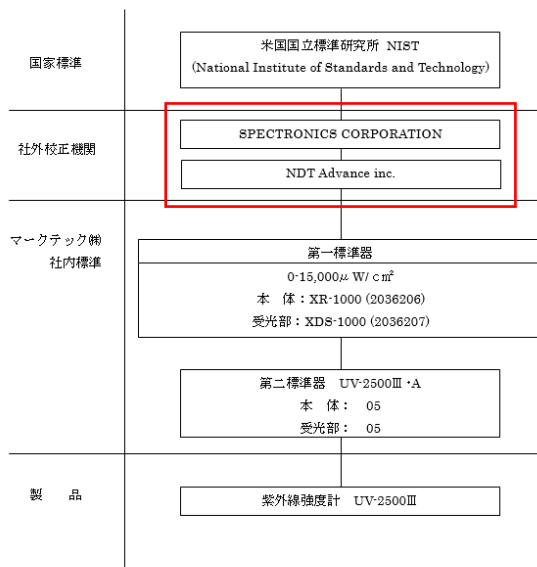
測定方法 紫外線光源 (UV照射器)より垂直に紫外線を照射し、各指示値における紫外線強度を測定し第二標準器との比較を行う。
各指示値の誤差が2.5%を超えている場合は、2.5%以内になるまで調整を行う。
「調整前測定値指示値」は調整する必要がある場合は調整前の値を表示し、調整する必要のない場合は新規製作品品については「—」で表示する。

校正条件 試験時の室温 20℃
試験時の湿度 20%
 新規製作 校正試験

測定日 2017年12月22日

標準器指示値 ($\mu\text{W}/\text{cm}^2$)	調整前測定器 指示値 ($\mu\text{W}/\text{cm}^2$)	校正値 ($\mu\text{W}/\text{cm}^2$)
0	—	0
1000	—	1000
2000	—	2000
5000	—	5000
10000	—	10000
15000	—	15000

確認	検査
----	----



書式番号: Q18-0491-02

成田工場 品質保証室

変更箇所	変更内容	変更前	変更後
測定結果報告書	校正点の変更	0, 1000, 2000, 10000 18000, 22000, 28000	0, 1000, 2000, 5000 10000, 15000
	不確かさ	記載有	記載を削除 ※不確かさが確定した段階で再度記載する。 2018年度中に記載予定
体系図	体系図全体を修正	—	NDT Advance inc を追加